

本検討委員会の開催趣旨及び 今後の審議の進め方について

本検討委員会の開催趣旨

令和4年4月23日に北海道知床で発生した遊覧船事故を受け、二度とこのような悲惨な事故を起こさないよう、小型船舶を使用する旅客輸送における安全対策を総合的に検討する。

総理指示

今般の事故を受け、徹底的な安全対策について考えていくことが重要であるため、国土交通省に対して、法的規制のあり方も含めて、安全対策のあり方について検証あるいは検討を行う検討会を立ち上げ、徹底的な安全対策を講じていくよう指示

検討事項は、法的規制のあり方も含め、以下の事項に関する安全対策のあり方とする。
なお、現在実施中の(有)知床遊覧船に対する特別監査の内容や、本検討委員会における議論等も踏まえつつ、検討事項の追加・変更を行う。

- 事業参入の際の安全確保に関するチェックの強化（役員・運航管理者の資質の確保 等）
- 安全管理規程の実効性の確保（気象・海象を踏まえた運航可否判断の適正化 等）
- 監査・行政処分のあり方
- 船員の技量向上（船長になるための運航経験 等）
- 船舶検査の実効性の向上（検査内容の重点化 等）
- 設備要件の強化（無線・救命設備 等）
- 利用者への安全情報の提供
- その他

今後の審議の進め方

- 第1回検討委員会での討議の結果を踏まえ、議論のテーマ・論点を整理。第2回以降は各回毎に設定されたテーマについて集中的に議論。
- 本年7月の中間とりまとめを目指し、精力的に検討を進める。

第1回 総合的な討議

第2回～ テーマ別の議論
(数回開催)

7月 中間とりまとめ(予定)

年内目途 最終とりまとめ